



洪水(氾濫)情報について

平成27年の水防法改正に基づき、最上川・寒河江川・沼川、令和6年に楨川・田沢川・実沢川・赤沢川・熊野川・新沼川・赤沼川等の浸水想定区域が公表されました。以下の情報を参考に、洪水時における対応についてあらかじめ確認しておきましょう。

1 氾濫の種類

- 雨量の増加によってもたらされる氾濫には、川から水があふれたり堤防が決壊して起こる「外水氾濫」と、街中の排水が間に合わず、排水路などからあふれ出す「内水氾濫」の2タイプがあります。

外水氾濫

大雨の水が川に集まり、川の水かさが増し堤防を越える。あるいは堤防を決壊させて川の水が外にあふれておきる洪水。氾濫が起きると一気に水かさが増すので、最大の注意が必要。



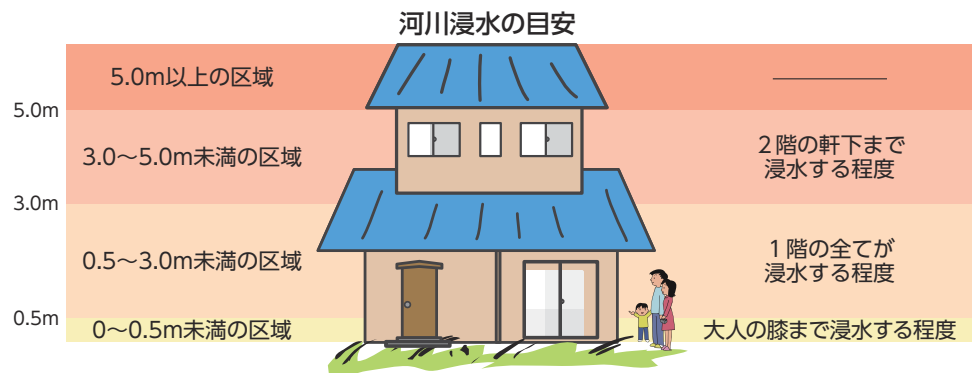
内水氾濫

その場所に降った雨水や、周りから流れ込んできた水がはけきれずに溜まっておきる洪水。川の水位が何mに達すれば警報を出すなどの対応が難しいため、注意が必要。



2 説明(外水氾濫)

- この「マップ」で使用しているハザード情報は、最上川・寒河江川・沼川ほか、県管理の中小河川が、大雨によって氾濫した場合、洪水が想定される区域とその浸水の深さを示したものです。
- 雨の降り方によっては、想定とは異なる浸水深となったり、地図に表示された浸水区域以外でも浸水することがあります。
- 川が氾濫しない場合でも、低い土地などは浸水被害(床上・床下浸水など)が起こる場合があります。十分注意しましょう。



3 氾濫情報の種類

洪水の危険性が高まった際に発表される情報

氾濫注意報(気象庁)

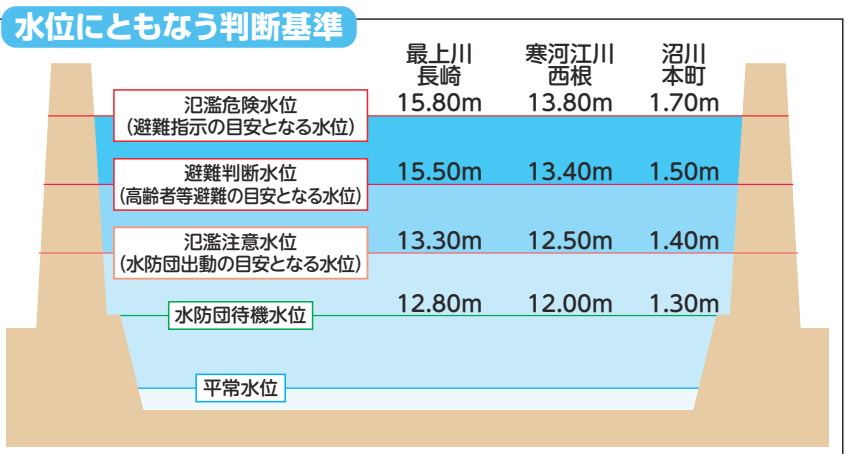
- 洪水によって災害が起こるおそれがある場合、その旨を注意する予報。

氾濫警報(気象庁)

- 洪水によって重大な災害が起こるおそれがある場合、その旨を警告する予報。

指定河川氾濫予報など

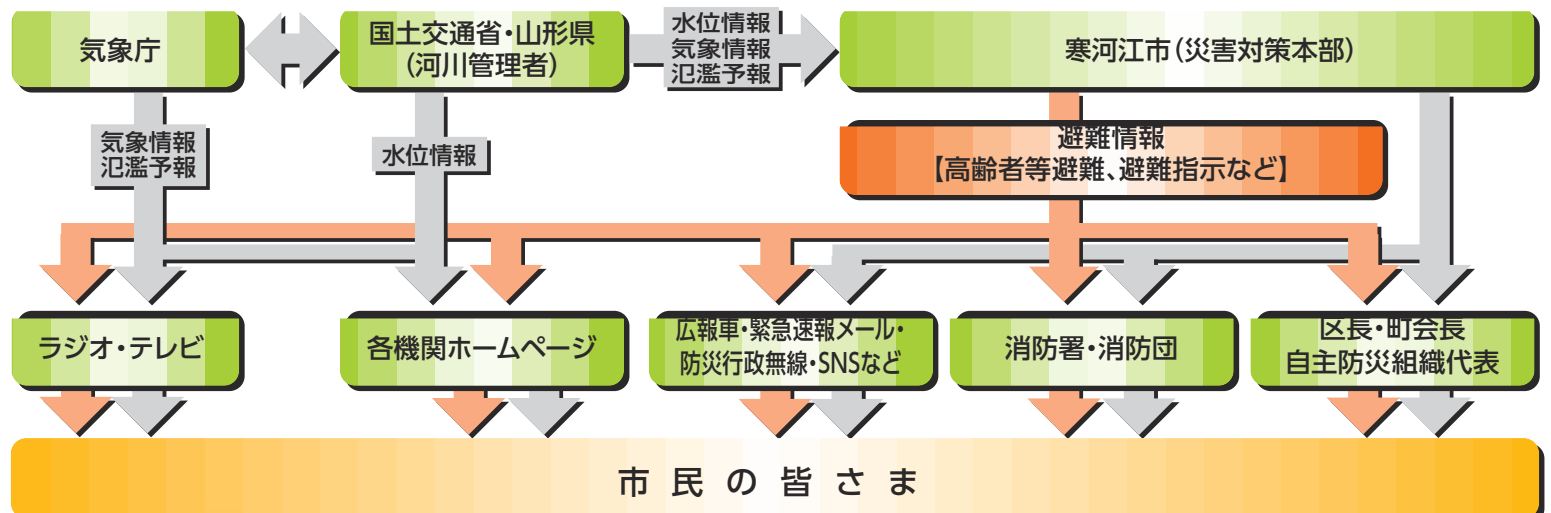
- 最上川については、山形地方気象台の予測する降水量をもとに、河川を管理する山形河川国道事務所が河川水位の危険度を予測し、共同発表します。
- 寒河江川・沼川は水位周知河川に指定されており、避難判断水位に達したとき県が「避難判断水位到達情報」を発表します。



※基準水位や現況水位は、「山形県河川・砂防情報」で確認できます。
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/>

4 氾濫情報の伝達ルート(土砂災害情報も同じ)

- 気象の異常に対して、下図の伝達ルートで市民の皆さまへお知らせします。



情報がなくても、異常気象(短時間での豪雨等)を感じたときには、避難の準備が必要です。危険を感じたときには、速やかに避難しましょう。